

皆さんは声を出して本を読んだのはいつが最後でしょうか。平成18年に発足して、現在11名で障がいのある方への朗読や、小学生・高齢者の方への読み聞かせを通じて社会貢献をしている「つくしんぼ」さんを紹介いたします。

「つくしんぼ」さんの活動

一障がいをお持ちの方への活動  
視覚障がいを持つ方に、滋賀県身体障害者協会から発行される新聞「県身協」と更生会から発行される「更生会だより」を音訳してテープに吹き込みます。

A4 10ページぐらいの分量を1人で吹き込むためにはかなりのエネルギーを要します。また、写真・イラスト・グラフなどをどう言葉で説明したらいいものかいつも苦労しています。

それでも「待つてくれている人がいると思うと力が入ります」とメンバーの一人は話されました。

小学生のみんなとの活動

小学校には月1回、平日の始業10分前に童話の読み聞かせに行かれます。いつも子供たちが校長室に迎えに来て、教室に連れていってくれます。小学生には学年に応じた童話、時間制限に心配りをして童話の選定をします。

「読み聞かせを始めると集中して聞いてくれるので、やりが

いがあります」とメンバーは話します。



▲みんな楽しみにしている読み聞かせ

高齢者の方との活動

高齢者の方は、訪問をすると、窓から顔を出して出迎えてくれるそうです。本の読み聞かせはもちろんのこと、童話を一緒に歌ったり、手遊びをしたりして楽しい時間を過ごしてもらえよう工夫をこらしています。



▲読み聞かせで楽しい時間を

皆さんに喜んでもらえる活動のために

このような活動をするためには、更なる質の向上をめざし、月に1度ボイストレーナーの講習を受講して発声しやすい身体作り、発声練習、口の体操をしています。

また、標準語で読み聞かせをするため「アクセント辞典」は常にそばにおき、疑問を感じればすぐに確認しているそうです。

平常心で素直な気持ちで読み、感情を引き出すことと聞き手を引き込むテクニックは難しく、感情移入しすぎて、自分の感情におぼれないようにすることに気をつけているそうです。

このように色々な苦労がありますが「小説、童話、エッセイ、詩など本は、心の豊かさをたくさん運んでくれますし、耳から広がる世界を楽しみながら活動をしています」と会長さんは力強く話します。



▲月に一度のボイストレーニングは欠かせません

問い合わせ  
社会福祉協議会  
☎ 66-2001

に活動を継続していかれる「つくしんぼ」さんに興味のある方は、ぜひ一度ご連絡ください。

第27回  
あいの土山マラソン  
2013



一斉にスタート



▲内川望美さんによる選手宣誓

問い合わせ  
文化スポーツ振興課  
☎ 66-8023 / ☎ 66-8030



▲見事一位でゴール

「第27回あいの土山マラソン」が11月3日、土山町一帯で、地域の方々、市内外の企業ボランティアなど数多くの皆さんのご協力をいただき開催しました。

当日はマラソンランナーにとって絶好のコンディションとなり、過去最多の3550人が秋の土山路を力走しました。

ランナーの皆さんは、沿道からの温かい声援に励まされ、各々が力を振り絞りゴールをめざしました。

選手宣誓は、市内在住の内川望美さんが務められ、市内からハーフマラソン一般男子の部で佐治祐貴さんが5位、ハーフマラソン一般女子の部で三日月麻衣さんが6位、香月彩さんが8位、マラソン一般女子の部では藤井由美子さんが8位にそれぞれ入賞されました。

記念講演会

あいこうか「うた」プロジェクト2013

入場無料

「であい・こうか八景」「大切な人への思い」をテーマに募集してありました短歌の中から、入賞作品30首を発表します。

また、記念講演会では、語りを総合芸術とする独自の世界を切りひらき、国内外でご活躍中の平野啓子さんを講師にお迎えし、古典や現代文など、歴史をひもときながら語り伝えることの大切さや、心に響く美しい日本語についてご講演いただきます。

日時 12月15日(日)14:00開演

第1部 入賞作品発表、表彰  
第2部 記念講演会 講師:平野啓子

「NHKニュースおはよう日本」のキャスターや大河ドラマ「毛利元就」等数多く出演。名作・名文を暗誦する「語り」芸術家として国内外の舞台やテレビ・ラジオで語りを披露。文化庁芸術祭大賞等受賞。現在大阪芸術大学教授。

会場 碧水ホール

入場は無料ですが、整理券を発行しています。(整理券をお持ちの方を優先させていただきます。)

整理券配布場所 あいこうか市民ホール、碧水ホール  
甲南情報交流センター、市内各図書館他

問い合わせ  
あいこうか市民ホール  
☎ 62-2626 / ☎ 62-2625

月曜休館